

乾燥した屋内で保管すること。

ラベルをよく読む。

記載以外には使用しない。

小児の手の届く所には置かない。

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地等	一年生雑草	雑草発生前	5~10g/m ²	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌散布	本剤、 フルボキサム 及び プロマシル を含む 農薬 2回以内
		一年生 及び 多年生雑草	雑草生育初期	10~20g/m ²		
			雑草生育期	20~40g/m ²		

※印は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

粒のまま、均一に土壌に散布します。

使用量：一年生雑草発生前……………1㎡当たり 5~10g

：雑草生育初期(草丈めやす20cm以下)……………1㎡当たり 10~20g

：雑草生育期(草丈めやす40cm以下)……………1㎡当たり 20~40g

散布上の注意

花壇、芝生、畑、水田(休耕田を含む)、樹木などの枯らしたくない植物の周り、傾斜地では絶対に使用しない。

●枯らしたくない植物の根が生えている場所には散布せず、根が張っていると思われる場所から1m以上離す。

※樹木の場合、横枝が伸びている距離(樹冠下)までは地中で根が伸びていると考えられる。剪定している木の場合は樹冠下よりも根が伸びている場合があるので、より注意が必要。

●水たまりが引かないようなときや、地面にまいた粒が流されてしまうような豪雨が予想される場合、散布を控える(軽い降雨であれば効果に影響はない)

●散布予定地より低い位置に農耕地や枯らしたくない植物がある場合、成分が流出する可能性があるため散布しない。

●特に松は除草剤に弱いので、松の周辺では使用しない。

※散布の際は周辺住民に一声かけるなど、配慮する。



傾斜地では使用しない!!



散布しない



樹冠下
散布しない
根の先端から1m以上離す



特に松は除草剤に弱い
ので使用しない!!

△効果・薬害等の注意

●使用量に合わせて秤量し、使いきる。

●散布適期は雑草発生前、雑草発生前(草丈20cm以下)及び雑草生育期(草丈40cm以下)であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失ないように散布する。

●樹木類等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所では使用しない(薬害)

●植物の根から吸収されると薬害が発生するので、水田や水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物および樹木類等有用植物の付近では使用しない。

●激しい降雨が予想される場合は散布しない。

●傾斜地や砂質土壌では使用しない(薬害)

●本剤を散布した場所やその付近では、植物の植付けは行わない(薬害)

●ハウス等の施設周辺では使用しない。

●土壌が乾燥しているときは効果が劣る場合があるので、適度の湿り気のあるときに均一に散布する。

●水源池、飲料用水、灌漑用井戸、養殖池等に本剤が飛散や流入及び浸透が想定される場所では散布しない。

●散布器具、容器はよく洗浄し、洗浄廃液は直接河川や用水路に流れ込まないように十分注意し、環境に影響を与えないよう適切に処理する。

●空袋はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。

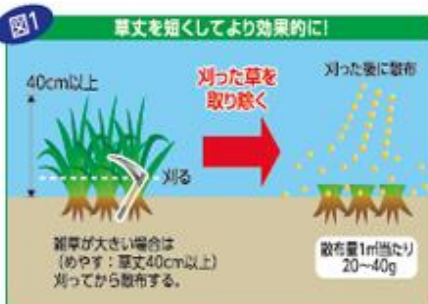
●使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましい。

使い方

point 1 散布の時期について

- 雑草の生える前から生え始めに散布するのが最も効果的です。
- 雑草が小さいときに枯らせれば、その後の片付けもほとんど必要ありません。
- 雑草が大きい場合(めやす:草丈40cm以上)は伸びた雑草を刈り取ってから1㎡当たり20~40gを散布してください。(図1参照)
- ササ・ススキに対しては、刈ってから散布するのがおすすめ。(図2参照)

※何年も生育してきた多年生雑草の場合、地上部を刈り込んだとしても本剤では枯らしきれない場合があります。



point 2 ササ・ススキへの効果的な処理方法



point 2 草丈40cmの雑草にも効果アリ!



- ネコギトツP粒剤は草丈40cmの雑草まで枯らすことができます。登録の範囲内で十分な量(1㎡当たり20~40g)を散布してください。

point 3 天候や土壌について

- 地面が極端に乾燥していると効果が劣ります。
- 水たまりが引かないようなときや、地面に撒いた粒が流されてしまうような豪雨が予想される場合は、散布しないでください(軽い降雨であれば、効果に影響ありません)。
- 以下のような土壌では効果が劣ります。
 - ①湿地等、粘土質の土壌 ②砂利が厚く敷かれている土壌 ③落ち葉や枯れ草が堆積している土壌 ④小石や礫(れき)が多く混ざった、硬い土壌 ※砂質土壌では使わないでください。
- 晩秋から早春にかけての低温期においては、雑草が枯れ始めるまでに1か月ほどかかることがあります。



point 4 草の種類についての注意

- 以下の雑草には効果が劣ります。



安全使用上の注意

- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(刺激性)
- 散布時は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中及び散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。

【魚毒性等】河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意(藻類)

【保管】密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

東京都台東区上野1-19-10

お問い合わせ TEL 03(6740)7777 平日9:00~17:00(土・日・祝日は休み)

造 場	新富士化学株式会社	小郡工場	山口県山口市小郡下郷2370
	三笠産業株式会社	出雲工場	島根県出雲市多伎町小田2656
分製造場	トーヤク株式会社	美浦工場	茨城県稲敷郡美浦村木原1876-10
	レインボー薬品株式会社	下館事業所	茨城県筑西市折本540
	家庭化学工業株式会社	河南工場	大阪府南河内郡河南町一須賀212-2